

現在、当院呼吸器外科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

頭頸部癌および食道癌に対する治療歴が肺悪性腫瘍の外科切除症例に与える影響に関する後方視的調査

2. 対象となる方

当院呼吸器外科で肺癌に対して、2012年1月1日から2018年3月31日までに肺切除手術を受けられた患者さん

3. 研究の背景・目的

手術に関係するデータを解析し、手術の安全性や、治療効果について検討することを目的としています。頭頸部癌（口腔癌、咽頭癌、喉頭癌など）や食道癌の多くは、喫煙が大きな誘発因子であると言われています。また、それらの既往を持つ方は、同じ頭頸部領域や、食道、肺などに、癌が同時性あるいは異時性に重複しやすいことが知られています（いずれも喫煙という共通の危険因子を持ちます）。これまでに、肺癌の外科手術を受けられた患者さんのうち頭頸部癌の治療歴を持つ方は、それを持たない方と比べて、術後経過や長期予後が良くない可能性が指摘されていますが、本邦での詳細な検討はありません。そこで、当院および関連施設において施行された、肺悪性腫瘍に対する肺切除術を過去に遡って解析し比較検討することで、頭頸部癌の治療歴を持つ方がどのような疾患背景をもち、どのような術後経過を辿るのかを観察し、今後の臨床へ何か示唆できるような発見がないか探求致します。

4. 研究期間

2020年9月（理審査委員会承認後）～2025年3月31日（予定）

5. 研究に使用する情報の種類

研究に用いる資料として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、患者さんの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、身長、体重、既往歴、喫煙歴
- ・ 診察所見、治療内容、術後経過、合併症、生存情報（肺癌手術日からの生存期間）、血液検査・画像診断（X線、CT、PET/CT、MRI）・生理学的検査（心電図・肺機能検査）・病理学検査

6. 実施方法

この研究に使用する情報を研究代表機関に提供させていただきます。研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名やカルテ番号、住所などが特定できないようにしたうえで提供します。また、患者さんの氏名やカルテ番号を置き換えた番号との対応表も当院で保管し、当院以外へはできません。

【主な提供方法】 電子的配信

7. 研究組織

研究代表機関： 岡山大学病院

共同研究施設： 山口宇部医療センター、岡山労災病院、愛媛大学医学部附属病院、岡山赤十字病院、岡山医療センター、三豊総合病院、岡山済生会総合病院、岩国医療センター、四国がんセンター、中国中央病院、赤穂中央病院、津山中央病院、尾道市立市民病院、福山医療センター、広島市立広島市民病院、松山市民病院、福山市民病院、香川県立中央病院、姫路赤十字病院、香川労災病院

8. 研究責任者

研究代表責任者 岡山大学病院 呼吸器外科 教授 豊岡 伸一

当院研究責任者 広島市立広島市民病院呼吸器外科 主任部長 松浦 求樹

9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

広島市立広島市民病院 呼吸器外科 藤原 俊哉

電話：082-221-2291（代表）